

自ら学ぶ教職員 活動報告書

グループ名 オンラインの活用から新時代の学びをつくる勉強会

テーマ オンラインの活用を含めたこれからの探究的な学びの手法の研究

取組のポイント・成果

取組の内容とポイント

- ▶ オンラインを活用し、「模擬授業」「サマースクール（オンライン授業）」「ビジュアルプレゼンテーション研修」の3点を実施した。
- ▶ 「模擬授業」を通して学んだオンラインでの効果的な授業を、「サマースクール」という形で生徒を対象に実践した。
- ▶ 「サマースクール」での反省より、興味を惹きつけられるプレゼンテーションの作成方法について「ビジュアルプレゼンテーション研修」を実施した。



『岐阜サマースクール』8月1日（土）

参加者 62名（岐阜県内の生徒 31名、岐阜県外の生徒 7名、
岐阜県内の教員 18名、その他 6名）

※目的

- ① 学校の枠を越えたオンライン授業の企画・実践を通して、今後の教育活動に転用可能なアイデアを得るとともに、自ら新たなことにチャレンジする精神を養う。
- ② 生徒の「学びに向かう力」や「思考力・判断力・表現力」、「社会において生かせる知識・技能」を引き出し育む授業を、実践を通じて体感する。

※講師

- ① 関口祐太氏（株式会社 Edo 代表取締役） 企画：伊藤英紀教諭（恵那高校）
- ② 津本高宏氏（元スタディバンク塾長） 企画：塩澤一樹教諭（岐阜高校）
- ③ 中村航氏（小説家） 企画：工藤志栄教諭（恵那高校）

※内容

- ① 「学びの未来を考える ～ニューノーマル時代の面白い学びを作れ！～」
生み出したいゴールから逆算してプロセスを考えていくバックキャストの手法を用いて、『未来×学び』から生まれる新しい事業を創造することを体感した。
生徒と教員が Zoom のブレイクアウトセッション機能を使って少人数グループに分かれ、意見交流から仲間とアイデアを広げた。
- ② 「ディスコースマーカーの強制力を体感しよう！」
事前に配布された文章を読み、提示された 12 の接続詞から 4 つを用いて、それをディスコースマーカーとして文章を構成する力を養うと共に、読解力も含めた国語力を養った。その後、Zoom のブレイクアウトセッション機能を使って少人数グループに分かれ、各自の文章を発表した。
- ③ 「高校現代文を 10 倍楽しく！ #山月記 #BangG Dream！ バンドリ 小説家 中村航先生と！読んでみよう 書いてみよう」
『山月記』と『バンドリ』の比較を通して小説の情報を仕分けした後、オンライン上のスライドに、それぞれが創作した『バンドリ』の続きを書き、中村先生のアドバイスをもらおうと共に質疑応答を通して、小説の読み方、書き方、向き合い方を学んだ。

『新時代ビジュアルプレゼンテーション講座』

第1回：12月5日（土） 第2回：12月12日（土） 第3回：12月20日（日）
参加者 18名（すべて岐阜県内公立高校教員）

※目的

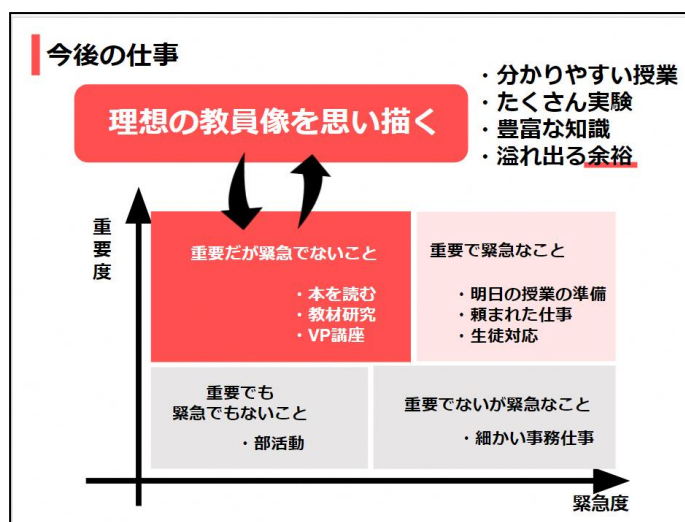
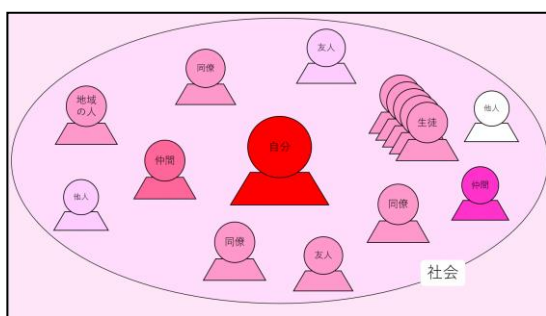
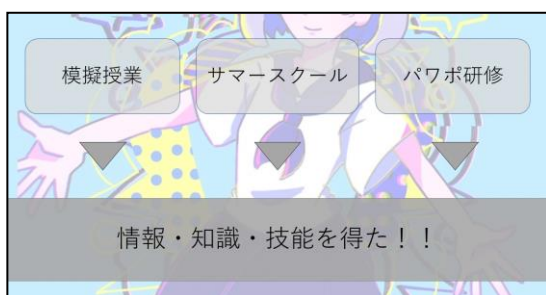
- ① ビジュアルプレゼンテーション(以下 VP)のポイントを理解し、指導できるようになる。
- ② 構造化のプロセスを身につけ、よりよい授業者となる。

※講師

田中善将氏（スクールエージェント株式会社代表取締役）

※内容

- ① 第1回：VPの趣旨や必要性和スライドテクニックの説明に加え、グループワーク、個人ワークなどを通して、構造化のプロセスを学んだ。課題図書の内容の中で伝えるべきことを絞り、行動変容を引き起こすVPをグループ毎で作成するという課題がでた。
- ② 第2回：グループ代表がVPを行い、より良くする術を皆で考えた。講師からは立ち返るべきポイントに沿って、一つずつフィードバックをいただいた。課題図書を読んで学んだことをVPで発表するという課題がでた。
- ③ 第3回：9名の発表者が順に発表し、その都度参加者や講師からフィードバックをもらった。最後に講師から成長した点と改善の余地のある点をアドバイスいただいた。



今後の課題

- オンラインの活用を各高校の先生方と協力して進めるシステムの構築を図る。
- 探究活動においてますます重要となるアウトプット（スライドやレポート作成）の活動を、この研修で学んだ我々自身を中心となって指導していきけるよう、日々の実践と研究を重ねる。
- 今回出会った共に学び合える仲間と今後も情報交換を続け、助け合いながら新時代の学び作りに貢献していく。